平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場会社名　株式会社 トーメンエレクトロニクス　　上場取引所　東
コード番号　7558　URL　http://www.tomen-ele.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 磯野 央幸
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長　(氏名) 西山 健太郎　TEL 03-5462-9666
四半期報告書提出予定日　平成25年2月14日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	107,131	4.9	1,293	△51.3	1,566	△40.4	1,409	△33.8
24年3月期第3四半期	102,102	△9.2	2,655	△37.2	2,627	△40.3	2,127	△14.8

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　1,411百万円　(△25.4%)　24年3月期第3四半期　1,892百万円　(△11.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	87.15	—
24年3月期第3四半期	131.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	75,069	41,448	55.2	2,562.70
24年3月期	67,687	40,764	60.2	2,520.42

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　41,448百万円　24年3月期　40,764百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
25年3月期	—	20.00	—		
25年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　有

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	152,800	10.4	2,870	△29.5	3,140	△24.8	2,400	△22.6	148.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	16,174,000 株	24年3月期	16,174,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	270 株	24年3月期	270 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	16,173,730 株	24年3月期3Q	16,173,733 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成24年4月25日発表の通期連結業績予想は、本資料において修正しております。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

１．連結経営成績

当第３四半期連結累計期間における世界経済は、米国の財政の崖問題はひとまず回避され、欧州債務問題も危機的な状況からは脱したものの、中国を始めとする海外経済は減速傾向が強く、予断を許さない状況が続いております。国内経済においても、円高修正による輸出企業の収益改善や株価上昇等の改善の動きは見られるものの、周辺国との関係悪化による経済の影響や貿易赤字は拡大基調であり、本格的な景気回復の兆しは見えておりません。

エレクトロニクス業界においても、車載向け分野や、近年急速に普及しているスマートフォン、タブレット端末などの通信機器向け分野は堅調に推移しているものの、薄型テレビ、デジタルカメラなどのデジタル家電や、ＰＣ、ハードディスクなどの情報機器向け分野においての販売低迷や価格下落に歯止めがかからず、依然として厳しい環境にあります。

このような環境の中、当第３四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期比4.9％増の1,071億31百万円となりました。

利益面では、前年同期比で売上高が増加したものの、相対的に利益率の低い製品が伸長したことやコンシューマ製品の販売単価下落が響き、売上総利益は、同11.2％減の92億22百万円となりました。営業利益は、増収に伴う販売費及び一般管理費の増加もあり、同51.3％減の12億93百万円となりました。

経常利益は、為替差益の発生がありましたが、同40.4％減の15億66百万円となりました。

四半期純利益は前期に厚生年金基金代行返上益があったことにより、同33.8％減の14億９百万円となりました。

２．セグメント業績

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①本社

本社におきましては、前年度に震災やタイの水害等で大きく落ち込んだ車載向け電子部品が堅調に推移し、またスマートフォン関連や家庭用ゲーム機器向けの電子部品の販売増加により、売上高は734億３百万円（前年同期比8.2％増）となりました。一方、利益面におきましては、汎用電子部品の市場価格の低下などの要因から、セグメント利益は10億51百万円（同55.2％減）となりました。

②ASEAN（東南アジア地区）

ASEANにおきましては、欧州の財政危機の影響からEMS、ODM企業向けの取引やデジタル家電機器向けの電子部品の販売が減少したため、売上高は118億59百万円（前年同期比11.1％減）となりました。セグメント利益は44百万円（同40.1％減）となりました。

③GCHINA（Greater China、中国・香港・台湾地区）

GCHINAにおきましては、携帯ゲーム機器向けの販売が立ち上がったこともあり、売上高184億63百万円（前年同期比4.6％増）となりました。セグメント利益は１億38百万円（同3.8％増）となりました。

④その他

その他におきましては、北米での車載向け電子部品販売が伸びたことから、売上高は34億４百万円（前年同期比4.9％増）となりました。セグメント利益は60百万円（同157.5％増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は750億69百万円となり、前連結会計年度末と比べ73億81百万円の増加となりました。これは主に、商品が93億90百万円増加したことによるものであります。

負債は336億21百万円となり、前連結会計年度末と比べ66億98百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が70億45百万円増加したことによるものであります。

純資産は414億48百万円となり、前連結会計年度末と比べ６億83百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が６億81百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の業績を勘案し、平成24年４月25日に公表いたしました平成25年３月期の通期連結業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成25年１月30日）公表の「平成25年３月期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更よる損益に与える影響は軽微であります。

（会計上の見積りの変更）

発注契約及びクレームに係る損失に備えるため、負担見込額にて補償損失引当金を計上しておりましたが、新たな事象の発生に伴う損失負担の可能性の変化に基づいて、見積りの変更を行いました。

これに伴い、当第３四半期連結累計期間において、従前の見積り金額と今回の見積り金額の差額を特別利益として認識いたしました。

これにより、当第３四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は２億89百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,978	2,615
受取手形及び売掛金	41,015	36,449
商品	13,636	23,026
繰延税金資産	615	394
その他	2,203	4,374
貸倒引当金	△56	△51
流動資産合計	59,392	66,808
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	316	285
工具、器具及び備品（純額）	108	112
その他（純額）	11	18
有形固定資産合計	436	416
無形固定資産		
その他	1,297	994
無形固定資産合計	1,297	994
投資その他の資産		
投資有価証券	5,070	5,262
繰延税金資産	615	655
その他	881	938
貸倒引当金	△6	△7
投資その他の資産合計	6,561	6,849
固定資産合計	8,295	8,260
資産合計	67,687	75,069

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,696	14,742
短期借入金	12,499	13,494
未払法人税等	873	86
繰延税金負債	－	0
賞与引当金	668	206
その他	2,878	3,013
流動負債合計	24,615	31,543
固定負債		
繰延税金負債	－	1
退職給付引当金	1,718	1,836
補償損失引当金	289	－
資産除去債務	121	123
その他	178	116
固定負債合計	2,307	2,077
負債合計	26,923	33,621
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,251	5,251
資本剰余金	4,767	4,767
利益剰余金	32,470	33,152
自己株式	△0	△0
株主資本合計	42,488	43,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	△12
繰延ヘッジ損益	△4	△23
為替換算調整勘定	△1,715	△1,686
その他の包括利益累計額合計	△1,724	△1,722
純資産合計	40,764	41,448
負債純資産合計	67,687	75,069

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	102,102	107,131
売上原価	91,710	97,909
売上総利益	10,391	9,222
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び賞与	3,010	3,180
賞与引当金繰入額	425	194
退職給付費用	210	240
賃借料	629	612
その他	3,460	3,700
販売費及び一般管理費合計	7,735	7,928
営業利益	2,655	1,293
営業外収益		
受取利息	2	0
為替差益	－	25
持分法による投資利益	457	331
その他	21	30
営業外収益合計	482	387
営業外費用		
支払利息	51	54
売上割引	26	59
為替差損	420	－
その他	12	1
営業外費用合計	510	115
経常利益	2,627	1,566
特別利益		
補償損失引当金戻入額	－	289
固定資産売却益	0	－
厚生年金基金代行返上益	766	5
特別利益合計	766	294
特別損失		
固定資産除却損	0	－
ゴルフ会員権評価損	1	13
退職特別加算金	8	－
特別損失合計	10	13
税金等調整前四半期純利益	3,383	1,846
法人税、住民税及び事業税	631	253
法人税等調整額	624	183
法人税等合計	1,255	437
少数株主損益調整前四半期純利益	2,127	1,409
四半期純利益	2,127	1,409

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	2,127	1,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△0
為替換算調整勘定	△222	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△13	△13
その他の包括利益合計	△235	2
四半期包括利益	1,892	1,411
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,892	1,411

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他（注）１（百万円）	合計（百万円）	調整額（注）２（百万円）	四半期連結損益計算書計上額（注）３（百万円）
	本社（百万円）	ASEAN（百万円）	GCHINA（百万円）	計（百万円）				
売上高								
外部顧客への売上高	67,852	13,347	17,655	98,855	3,246	102,102	－	102,102
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,962	806	896	18,666	571	19,238	(19,238)	－
計	84,815	14,154	18,552	117,521	3,818	121,340	(19,238)	102,102
セグメント利益	2,347	74	133	2,556	23	2,579	75	2,655

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないTOMEN ELECTRONICS AMERICA,INC.及び株式会社ピーピーエルの事業活動であります。
２．セグメント利益の調整額75百万円は、主にセグメント間取引消去であります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自 平成24年４月１日 至 平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他（注）１（百万円）	合計（百万円）	調整額（注）２（百万円）	四半期連結損益計算書計上額（注）３（百万円）
	本社（百万円）	ASEAN（百万円）	GCHINA（百万円）	計（百万円）				
売上高								
外部顧客への売上高	73,403	11,859	18,463	103,726	3,404	107,131	－	107,131
セグメント間の内部売上高又は振替高	13,966	743	1,368	16,078	481	16,559	(16,559)	－
計	87,369	12,603	19,831	119,805	3,886	123,691	(16,559)	107,131
セグメント利益又は損失	1,051	44	138	1,234	60	1,295	(1)	1,293

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれないTOMEN ELECTRONICS AMERICA,INC.及び株式会社ピーピーエルの事業活動であります。
２．セグメント利益又は損失の調整額(１)百万円は、主にセグメント間取引消去であります。
３．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。